

★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:500252 1口1000円～ にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:500251 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。
★JOSO脱プラ基金は注文番号:500254 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。

COOP-JOSO News Letter

2021年11月2回号 発行: 常総生協広報G



2021年度活動テーマ「笑顔で育む免疫力」

＼畑に行こう♪／微生物農法の会 長島さん 麦とスナップエンドウの定植お手伝い募集！

○大豆プロジェクト 長島さんチームより

野菜セットでお世話になっている微生物農法の会の長島さんから、麦の播種とスナップエンドウ定植を行うにあたり、組合員さんもう一緒にどうかとのお願いがありました。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言があった中で、援農のお誘いが難しい状況でしたが、援農の開催を実施することになりました。畑作業は天候と獣害、害虫との闘いが日々あります。無農薬で栽培している生産者は特に収量が不安定になりやすく大変です。生産者を元気づける意味でも是非、組合員さんからのお手伝いを、お願い致します。



(大豆プロジェクト長島さんチーム: 中丸理事、中山理事、伊藤専務理事)

【開催日時】2021年11月10日(水) 10時～12時

【場所】茨城県 行方市山田3222-7

※土浦北インターから45分くらいで到着します。ひたすら354号を東に進みます。

【持ち物】長靴、汚れても良い服装、軍手、帽子、タオル、飲み物(水分補給用)

【参加費】無料

【開催について】小雨決行、荒天中止。中止の場合は前日までにご連絡致します。

【申し込みについて】生協へ電話(0297-48-4911)または、常総生協ホームページのイベントWEBページ(<https://www.coop-joso.jp/note/event/2896/>)でお申込み下さい。

締め切り: 11/9(火) まで

2021/11/10 長島さん援農募集ページ



《コロナ対策ガイドライン》

※参加前、参加後に発熱等の症状があった場合は必ずご連絡ください

- ・参加当日は必ず検温を行って下さい。
 - ・参加当日、大人(18歳以上)の方は37.0℃以上、小人(18歳未満)の方は37.5℃以上の発熱があった場合は参加出来ません。
 - ・また息苦しさ、倦怠感、だるさ、味覚・嗅覚の異常が見られた場合も参加できません。
 - ・参加当日からさかのぼり2週間以内に該当する体調不良が本人または同居者の中にあつた場合も参加できません。
 - ・参加にあたり下記内容を厳守してください。
- ① 直近2週間の行動記録(いつ、どこで、何をしていたか)を常総生協に開示できる。
 - ② 参加者がリスクを理解した上で、感染対策を確認している。
 - ③ 必ずマスクを着用のうえ参加する。
 - ④ ソーシャルディスタンスを守り密になることを控える。生協から指示があつた際は、指示に従う。
 - ⑤ 参加中に具合が悪くなった場合はすぐに申し出て、帰宅する。
 - ⑥ ボトル・水筒は自宅準備し、他人の物は使用しない。(取り違え防止のため必ず名前を大きく書く。)
 - ⑦ 咳エチケットを守り、つばを吐いたり、手鼻をかまない。
 - ⑧ 終了後は速やかに撤収・帰宅する。

理事会よもやま通信

常総生協はみんなの「ほしい！食べたい！知りたい！」を応援します

発行 常総生活協同組合理事会

TEL0297-48-4911

FAX0297-45-6675

オンラインde常総生協まつり イベント生産者紹介①

先週配布しました「オンラインde常総生協まつり」のパンフレットはご覧になりましたか？今回は、オンラインイベントに参加していただく生産者と当日のイベントを紹介します

【株式会社ニッコー】



株式会社ニッコーは神奈川県にある冷凍食品メーカーです。「自分の子どもに安心して食べさせられる食品をつくる」をモットーに、食品づくりをしております。二〇一一年から自社農園

●ニッコーの全てを見せます！製造から自社農園まで常総生協の皆様、こんにちは！ニッコーの菊田です。パワーポイントを使用した会社のこだわり、商品のこだわり説明、タイミングが合えば畑とつないで実況中継をおこないたいと思います♪皆様とお会いできるのを楽しみにしております！

【株式会社 鎌倉ハムクラウン商会】



「鎌倉ハム」と名前の一部に入る会社は全国に5社ほどありますが全て関連の無い会社で、量販店で見かける鎌倉ハムとは全くの別物です。「無塩せき」（発色剤を使わない）ハム・ソーセージを専門に作っており、全国の生協・学校給食に卸しております。

●鎌倉ハムのこだわりの製法をご紹介します！

常総生協の皆様日頃よりお世話になっております。鎌倉ハムクラウン商会の魚住です。今回は、弊社の製造工程や原料のこだわりなどをパワーポイントと動画を使用して紹介していきたいと思っています。ご意見、ご質問等は動画終了後お受けいたします。皆様とお会いできるのを楽しみにしています！

【石岡鈴木牧場】

石岡市で子牛と合わせて五十頭の乳牛を「牛も人間も健康で豊かに」をモットーに育て、ヨーグルトとチーズを販売している『石岡鈴木牧場ヨーグルト・チーズ工房』です。牛に食べさせる飼料を可能な限り自分達の手で良質なものを作り、その土作りの基本となる堆肥作りに力を注ぎ、循環・持続する酪農を私達は大切にしています。

●鈴木牧場の牧場見学

常総生協の皆様、こんにちは！鈴木牧場の鈴木です。当日はオンラインですが、牧場見学をさせていただきます。健康な牛、飼料づくり、堆肥など、どのように循環しているのかをぜひご覧ください。皆様とお会いできるのを楽しみにしております！



【農事組合法人庄内協同ファーム】

私たちは山形県鶴岡市にあり東に出羽三山、西に日本海と自然に恵まれた庄内平野が広がる地域で農産物を育てています。一九七八年より生協の方々と産直取引が始まりました。「豊かな自然環境を大切に」「安全とおいしさを求めて」という理念に掲げ、安全・健康、自然・環境との共生に取り組んでいます。

●庄内餅の美味しいレシピ紹介とトークセッション

庄内共同ファームの小野寺です。資料ファーム日より二種類、玄米餅の肉巻きレシピ、庄内米の美味しい秘訣(四分間動画) 動画を終了後小野寺にてプレゼンを行わせていただきます。お餅のアレンジレシピ、玄米餅の肉巻き実演、また生協組合員の皆様とのトークセッション(質問も受け付けながら) など、和気あいあいとした時間を過ごせたらと思います。



特設WEBサイト



おためし Zoom
お申込みはこちら



『理事会よもやま通信』へのご意見・ご感想は、OCR用紙の「意見・要望・連絡欄」、ネット注文の方は「ご意見のページ」にご記入をお願いいたします。

〇いつもありがとうございます。

News Letter 非常に理解がしやすくて、じっくり読ませていただきました。エベレスト山頂に殺虫剤成分検出の話聞いたことがあります。食戦力の職にいつか不自然なものがまじっていたら・・・

(柏市 Mさん)

〇いつもお世話になっております。「OKシードプロジェクト」いいですね。

消費者である私たちは、毎日自分の口に入れている食品にもっと関心を持つべきだし、私自身もそのことを身近な人から伝えていける様、心掛けようと思います。

(守谷市 Hさん)

〇newsletter拝読しました。みどりの食料システム戦略知りませんでした。

とても恐ろしいことが知らない間に進められているのですね。情報ありがとうございます。

(守谷市 Sさん)

〇ネット上での原材料全表示、大変ありがたいです。

お世話になります。ありがとうございます。ネット上での原材料全表示、大変ありがたいです。より安心して利用できます。

(龍ヶ崎市 Iさん)

〇「JOSOわいど」とってもいいです。

一人ランチにちょうどいいです。

(取手市 Sさん)

〇みどりの食料システム戦略について

ニュースレターなど読んで、あまり難しい事は分かりませんが、常総生協組合員でよかった！とつくづく思います。有難うございます。

(龍ヶ崎市 Sさん)

〇10月2回号NewsLetter 伊藤専務の文、英文字多く何を伝えたいのかさっぱりわからない。

農林水産行政に従うということ？長い文章になってもいいので何をどうしたいのかもっと分かりやすく書いて下さい。

(つくば市 Kさん)

ご意見ありがとうございます。つたない文章でのお知らせになってしまい、申し訳ありません。

10月2回のNewsLetterで「みどりの食料システム戦略について、問題点のお知らせを書いたつもりでしたが・・・まだまだ未熟で分かりやすく伝えることが出来ていなかったと反省です。

伝えたかった事は、遺伝子組み換えから、遺伝子操作のレベルに変わってきていて、そうした取り組みを中心に据えているこの「みどりの食料システム戦略」が問題であると提起しています。遺伝子操作をしないと人間はこれから生き残れないのか？くらい見直しをしていく事が原点ではないか？という事を、これから組合員の皆さんと議論していければと考えます。

(専務理事 伊藤)

〇日立の広報誌「ひたちの文化」にて鈴木牧場さんが紹介されています。

お世話になっております。日立の広報誌「ひたちの文化」の2ページにエッセイ「チーズを楽しもう」にて鈴木牧場さんが紹介されています。県内4つのチーズ工房のうちの自然派工房としての紹介です。

(土浦市 Oさん)

〇ニュースレターを読んで新人の磯野さんのコメントを読ませてもらいました。

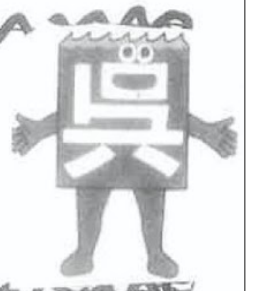
私も常総生協は長いと思いますが、正直働いている職員さんの環境まで考えたことがなかったです。今回暖かみのある常総生協の会員であることに一層誇らしくうれしくなりました。

(つくば市 Tさん)

〇群馬の黒澤和夫さん・恵美子さん親子のはちみつをまた扱ってくださってうれしいです。

前回「百花蜜」を注文しとても気に入りました。少し粘りがあり、品のある味。開けてすぐに香りも感じました。説明の通り少し白濁していて、それが有機の菜種油用の菜の花が多いからと書いてあってなんだか光景が目には浮かぶようで。有機の菜の花なんだと、うれしいです。今回は栗の花はちみつを注文しました。限定数ですが当たればいいと思います。鉄分補給に藤井養蜂のそばはちみつを使っていますが、(チラシの)栄養成分の説明を読んで試してみようと思いました。

(つくば市 Nさん)



Gotoトラベルの再開も噂されているので、昨年 Goto~で行った広島の話と脳内より蔵出しします。2020年11月7日(土) 10時頃 新幹線の広島駅に到着。そこから在来線に乗り換えしようと移動していると何やら人がいる。多分5人位だったと思う。新幹線から降りてきた人に対しチラシを渡し声を掛けている。マルチ商法？異国の地で散りたくないの距離を取る。よく観察してみる。のぼりを見て全てを理解する。どうやら観光を誘致する市役所か、なんかの人達だとわかった。コロナで観光業は切実なのでしょう。一生懸命なのでしょう。それは一体どこの自治体？近づいてみる。それは呉市だった。呉なら安心して欲しい。必ず明日一人旅行者が向かう。私が行く。もう何十年も前から呉に行こうと思っていた。絶対に行こうと思っていた所がある。どうか顔を洗って待っていて欲しい。心の中で誘致する皆さんにエールを送りつつその場を後にする。私の中で呉のイメージが爆上げ。だったのが秒で爆下げ。駅で呉の観光ポスターを見たから…。JR西なのか呉市で作ったのか…。笑顔の人々の下に書かれた一言。「呉に来てくれ！」酒場のオヤジギャク？駅で見たあのやる気はどこ行た？フロが作ったんだよね？せめて念押しを入れて「呉、呉(くれぐれ)も呉に来てくれ」ぐらい…と言うかイメージが大事だったと思う。観光要素を捨て、タジャレにいく意味不明。ついでに呉のゆるキャラ。はっきり言ってこれは事件と言ってもいい。その名は「呉氏」え？でしょ？歴史の教科書に載ってそうな呉氏。これだったら何でもあり。千葉氏、野田氏、海老名氏、こうしてみようと思う。他の自治体だったらあり得ない。単なる人名になってしまってる。このやる気あるのかないかわからない呉に翌日行くのだ。何十年も前から行きたい所のある呉に行く。呉市には行くが呉氏には会いたくない。そう思いながら宮島へ向かって行くのだった。